

観光と 文化交流

Romansyu Town Hanawa

湯遊ランドはなわ 大浴場や露天風呂のほか、全国でも珍しい目化石を使った遠赤外線温浴サウナなどが完備されています。



JR駅舎・町立図書館と併設したコミュニティプラザ

人と人がふれあうことで生まれる深い絆^{きずな}。人と町が出会うことで生まれる新たな可能性。埴町では、こうした出会いを大切にしていきたいと考え、「交流」をテーマにしたさまざまな町づくりを行っています。

自分の原画を保存・展示してくれる施設を捜していた漫画家・富永一朗氏と、町のために何かしたいと考えていた町民（後の「富永一朗はなわ発祥塾」の人々）との出会いは、「漫画で町おこし」というユニークな試みをはじめのきっかけになりました。平成5年に誕生した「はなわ漫画廊」を皮切りに、「漫画通り」や町の看板・印刷物などに氏の漫画がお目見えし、平成7年には「ハガキ漫画グランプリ」が、平成10年には「全国漫画サミット」が埴町で開催され、漫画が縁ではじまった交流は、全国に広がっています。

ルバング島から奇跡の生還を果たし、後半の人生は青少年の育成に力を注いでおられる小野田寛郎氏とは、この町の豊かな自然が出会いのきっかけになりました。片貝にある財団法人「小野田自然塾」のキャンプ場では、町の子どもたちはもちろん、全国から青少年を募り「自然と遊び、自然から学ぶ」をテーマにした野外活動が毎年開催されています。

平成5年に完成した「埴町コミュニティプラザ」は、JRの駅舎に町立図書館などを併設した複合施設で、館内には、富